



笑顔、誠実、清潔

磨く

貢献する会社、選ばれるクリーンクルー

株式会社周防灘ビルサービス通信



VOL.  
3

令和7年4月

「株式会社周防灘ビルサービス社内報」をお届けします。会社のトピックスや成功事例を共有します。皆さんの活躍を振り返り、今後の励みとなる情報を発信しますので、ぜひご覧ください。

## TOP MESSAGE

### 今月の言葉

## 他者を勇気付けるか、他者の勇気を挫（くじ）くか？



この言葉はアドラー心理学でよく使われる言葉です。アドラー心理学とは、オーストリア出身の心理学者アルフレッド・アドラーが提唱した考え方で、「人は誰でも変えられる」「人は勇気を持てば前に進める」といった前向きな思想が特徴です。人の成長や人間関係において「勇気づけ」が大切だとする考え方で、教育や職場でも注目されています。

### 【この言葉が教えてくれること】

『他者の勇気を育てるか、他者の勇気を挫くか。さあ、あなたはどっち？』  
現場では、私たちの言葉や態度がチームの雰囲気をつくっています。  
新人さんが初めての機械操作で戸惑っているとき、

「まだできないの？」と口にしてしまえば、その人は一歩引いてしまうかもしれません。そう、新人さんの勇気を挫く言動です。

でも、「最初はみんなそんなもんよ。ゆっくりでいいよ」と声をかけるだけで、相手はもう一度やってみようという\*\*"勇気"\*\*を持てるのです。→他者への勇気づけ。

アドラー心理学では、他者に対する自分の言動は、

他者を勇気付ける言動か、

他者の勇気を挫く言動かのどちらかに大別されるといいます。

あなたのちょっとした励ましが、誰かの背中を大きく押すこともあります。  
掃除道具と同じくらい、私たちが大切にしたいのは、仲間へのまなざしとちょっとした一言。その一言が、チームを変え、現場の雰囲気を変え、そして何より、自分自身に他者のために行動できる"勇気"をもたらしてくれるかもしれません。

クリーンクルーとお客様の間で生まれる日常のエピソードを記録したコーナーです。気付きや学び、発見がもたらせることを願って綴ります。

## ピカピカ日記

### 一声が守る、安全と信頼

ある現場でのこと。作業を終えようとしていたとき、私は足元に絡まった養生用のひもに気付かず、そのまま歩き出そうとしていました。そこに仲間のひと声——「足元、ひもが絡まっていますよ！」。その言葉に立ち止まれたおかげで、転倒事故を防ぐことができました。



その時感じたのは、「安全のための声掛けは、気遣いであり、チームワークの証でもある」ということ。どんなに慣れた現場でも、誰かの目と心が、自分の見落としをフォローしてくれる。これがクリーンクルーとして働く私たちの強みだと、改めて実感しました。ピカピカにするのは床だけじゃない。仲間同士の信頼や安心感も、日々の現場で少しずつ磨かれていくものなのです。

### 常駐現場サポート！サブマネージャー荒牧敬三さん、徳永勝己さん



荒牧 敬三さん 徳永 勝己さん

徳永さんは、自身のキャリアの中で積み上げた用意周到さと電気機械の腕前で、現場の修理はおまかせの頼れるエキスパート。荒牧さんは、明るく前向きなスポーツマン！向上心もユーモアも忘れない、現場のムードメーカーです。

どうぞよろしく願いいたします。